

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力
ラフシュ郡ムクス地区カロシュラ村第31番学校新校舎建設計画供与式報告

平成30年9月27日、「ラフシュ郡ムクス地区カロシュラ村第31番学校新校舎建設計画」の供与式がラフシュ郡で行われました。供与式にはラフシュ郡長をはじめ、多くの学校関係者、児童・生徒及び保護者を含む大勢の地域住民が参席しました。

本計画対象のカロシュラ村第31番学校は村唯一の基礎教育機関で、村内一円から1～11年生291名が通っています。校舎は第1～3校舎の3棟から成り、特に1969年に建設された第1校舎と1987年に建設された第3校舎は老朽化が顕著でした。第1校舎は経年劣化のため校舎全体が使用不可で、第3校舎は壁の塗装が剥がれ落ち、床には穴が散見され、雨漏りしている箇所も複数ありました。さらに、骨組みの劣化により第3校舎全体が傾いてきており、安全な環境とは言いがたい状態でした。

今般、本計画実施により新校舎が建設され、カロシュラ村の児童・生徒たちは安全で快適な環境で教育を受けることができるようになりました。供与式では同学校に通う児童・生徒より、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



感謝の気持ちを込めた詩を披露する生徒たち。



テープカットの様子。



新しい校舎で学習する生徒たち。



校舎外観。